作成日：西暦 2026 年 09 月 26 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：20 歳代の BMI 食事速度および生活習慣を用いた 5 年後および 10 年後の肥満・低体重リスク予測モデルの開発

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

１．研究の対象

JMDC 保険者データベース（日本全国の保険者から収集された、レセプト・健康診断結果・加入者台帳の情報）に登録された方 2300 万人の方が対象です。そのうち、①20-59 歳の男女、②5 年以上の記録があり、かつ 5 回以上 BMI, HbA1c, non HDL-C, UA、Hb、収縮期・拡張期血圧、食事の速さなどの生活習慣など情報が充足している方を研究対象とします。

２．研究目的・方法・研究期間

肥満と低体重は、いずれも栄養状態の異常として捉えることができ、総死亡および心血管疾患を含む健康障害のリスク上昇と関連します。特に 20 歳代は、その後の体重推移や体重履歴を形成する重要な時期です。したがって、将来的に肥満または低体重へ移行するリスクが高い者を 20 歳代の段階で特定し、食事や生活習慣への早期介入につなげることは、栄養治療および疾病予防の観点から重要です。

海外の先行研究では、肥満の重症度だけでなく、肥満への累積曝露、すなわち「肥満度×肥満期間」が心血管イベントの発症と関連することが報告されています。このことから、ある一時点の BMI だけではなく、肥満または低体重がどの程度長く持続したかという体重履歴を評価する必要があります。

われわれはこれまで、肥満および低体重の持続率に着目した縦断研究を行い、食事速度がその後の体重状態の持続と関連することを示してきました。また、肥満の持続率が高い者ほど、その後の血圧および HbA1c が上昇しやすいことを見いだしています。これらの結果は、若年期の体重状態および食習慣を用いることにより、その後の不適切な体重状態への移行または持続を予測できる可能性を示しています。

本研究の目的は、20 歳代の初回健診時に得られる年齢、性別、BMI および食事速度を用いて、5 年後および 10 年後の肥満ならびに低体重のリスクを予測する男女別モデルを開発することです。

さらに、その他の生活習慣および臨床指標をモデルへ追加することにより、肥満および低体重の予測性能がどの程度改善するかを検討します。最終的には、個人の将来リスクを推定できる計算式またはリスク表を作成し、栄養指導および早期介入の対象者選定に活用できる形で提示します。

期間：倫理審査委員会承認日～2029 年 03 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：以下の項目は年度ごとに時系列で取り扱います（ID を除く）。
加入者 id、健診 id、健診実施年月日、BMI、腹囲、既往歴
自覚症状、他覚症状、収縮期血圧、拡張期血圧、採血時間(食後)、中性脂肪(TG)、空腹時中性脂肪(TG)、随時中性脂肪(TG)、HDL-C、LDL コレステロール、got(ast)、gpt(alt)、γ-gt(γ-gtp)、空腹時血糖、随時血糖、HbA1c、
ヘマトクリット値、血色素量(ヘモグロビン値, Hb)、赤血球数、
心電図(所見の有無)、眼底検査(キースワグナー分類)、
眼底検査(シェイエ分類:h)、眼底検査(シェイエ分類:s)、
眼底検査(scott 分類)、喫煙、食べ方 1(早食い等)、食べ方 2(就寝前)、食べ方 3(夜食/間食)、食べ方 3(間食)、食習慣、飲酒_2024 年 3 月まで、飲酒量_2024 年 3 月まで、飲酒_2024 年 4 月以降、飲酒量_2024 年 4 月以降、睡眠、服薬 1(血圧)、服薬 2(血糖)、服薬 3(脂質)、既往歴 1(脳血管)、既往歴 2(心血管)、既往歴 3(腎不全･人工透析)、貧血
20 歳からの体重変化、30 分以上の運動習慣
歩行又は身体活動、歩行速度、1 年間の体重変化
咀嚼機能、生活習慣の改善、血清尿酸、血清クレアチニン、
加入者 id、保険種別、加入者生年月、加入者性別
家族 id、本人家族、続柄、観察開始年月、観察終了年月

４．外部への試料・情報の提供

該当なし

５．研究組織

本学の研究責任者：
藤田医科大学　医学部　臨床栄養学講座　教授　飯塚勝美

試料・情報の管理について責任を有する者：藤田医科大学 学長 岩田仲生

６．お問い合わせ先

本研究では、個人が特定できない処理が行われた後のデータを使用するため、オプトアウトの対象外です。そのため申出を行なっても、データの除外ができません（どのデータかわからないので）。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

藤田医科大学　医学部　臨床栄養学講座
担当者：飯塚　勝美
愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
電話 0562-93-2329
e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。